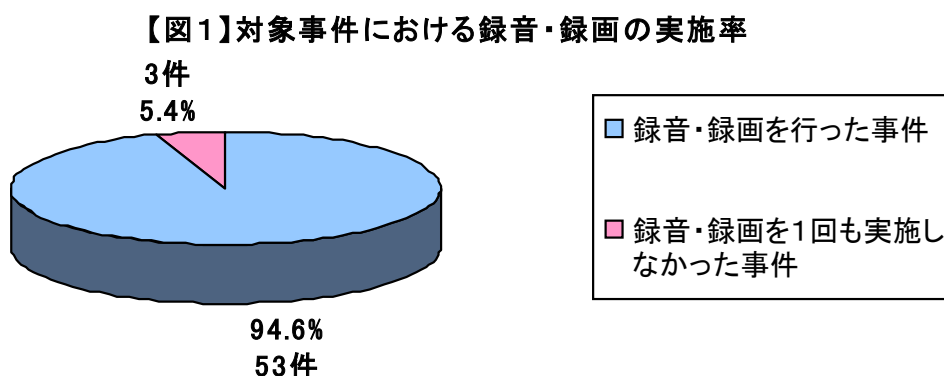


特別捜査部・特別刑事部における録音・録画の実施状況

1 録音・録画を実施した事件数

平成24年5月から同年9月末までに報告があった事件（56件）のうち、録音・録画を行った事件は、53件（約94.6パーセント）で、録音・録画を1回も実施しなかった事件は、3件（約5.4パーセント）である。

【図1】



また、取調べの録音・録画を行った53件のうち、取調べの全過程の録音・録画を行ったものは31件（約58.5パーセント）である。

（参考）

検証で対象とした期間（平成23年4月から同24年4月まで）に報告があった事件（98件）のうち、録音・録画を行った事件は、91件（約92.9パーセント）で、録音・録画を1回も実施しなかった事件は、7件（約7.1パーセント）であった。

また、取調べの録音・録画を行った91件のうち、取調べの全過程の録音・録画を行ったものは、39件（約42.9パーセント）であった。

2 取調べ時間と録音・録画時間との関係

平成24年5月から同年9月末までに報告のあった取調べの録音・録画を行った事件全体（53件）について、総取調べ時間に占める総録音・録画時間の割合を見ると、約70パーセントとなっており、1事件当たりの平均録音・録画時間は、約37時間48分となっている。

このうち、取調べの全過程を録音・録画した事件（31件）における1事件当たりの平均録音・録画時間は、約55時間39分であり、取調べの一部を録音・録画した事件（22件）における、総取調べ時間に占める総録音・録画時

間の割合は、約30.6パーセント、1事件当たりの平均録音・録画時間は、約15時間1分となっている。

(参考)

検証で対象とした期間（平成23年4月から同24年4月まで）に報告のあった取調べの録音・録画を行った事件全体（91件）については、総取調べ時間に占める総録音・録画時間の割合は、約51.4パーセント、1事件当たりの平均録音・録画時間は、約32時間10分であった。

このうち、取調べの全過程を録音・録画した事件（39件）における1事件当たりの平均録音・録画時間は約54時間35分であり、取調べの一部を録音・録画した事件（52件）における、総取調べ時間に占める総録音・録画時間の割合は、約22.4パーセント、1事件当たりの平均録音・録画時間は、約15時間21分である。